




生物資源分野

研究領域

「生物資源の持続可能な生産と利用に資する研究」

採択年度	2020年	研究期間	5年間
研究課題名	ゴムノキ葉枯れ病防除のための複合的技術開発プロジェクト	貢献する主なSDGs	  
研究代表機関	理化学研究所 環境資源科学研究センター		
相手国	インドネシア共和国	主要相手国研究機関	インドネシアゴム研究所
研究課題の概要			
<p>本研究は、東南アジアで世界の90%以上を供給しており、交通網の発達や化石資源から環境負荷の少ない自然資源への転換により需要が増大している天然ゴムの生産を脅かしているゴムノキ葉枯病の原因であるPestalotiopsis菌について解析を行い、病害駆除と拡大防止を行う。現在Pestalotiopsis菌による葉枯病がインドネシアを始め、マレーシア、スリランカ、タイで拡大が起きている。インドネシアと協力して薬剤、微生物による増殖抑制、罹病株の早期発見、品種改良の多角的観点から病害拡大を抑制し、安定した天然ゴム供給に資する技術基盤を構築する。このことにより、将来のゴムノキ育種のためのゲノム技術を始めとする近代育種技術の確立を行い、インドネシアと日本の研究交流を通じて資源生産国と消費国を繋ぐ近代的科学技術に根ざした育種に貢献できる人材を育成する。</p>			